



情報処理への思い

■ 細川 茂樹

「情報処理」という言葉には親しみがあります。というのも高校時代から商業高校に通っていたので、商業簿記、秘書検定、速記、商業経済などに加え、当時一般にはまだ馴染みの薄かったコンピュータの授業や一太郎の検定取得も、卒業のための条件となっていました。後にバブルと呼ばれた時代で、日本がいずれアメリカを抜いて No.1 になるのではないかと、社会や経済の時事にワクワクできる時代でした。そういった進歩・発展の渦中で、珠算は検定を取得しても必要なくなる時代が来るかもと予測してみたり。しかし、コンピュータに関しては、現在のようにスマートフォンや携帯電話という形で街中で使用する時代が来るとは想像できませんでした。OSはMS-DOSで、フロッピーの容量も今考えると非常に小さいものでしたし、プログラミングができないと動かせないものでした。コンピュータは本当に短期間でずいぶん進化したなと感心します。

僕自身、ここ何年かは家電に詳しいことでテレビや雑誌などさまざまところで取り上げていただくことが多くなり、情報を提供する側として「これを使ったらこういうことができますよ」ということを伝える立場になりました。しかし実際は、次から次へ新しい機種へと買い替えるタイプではありません。どんどんモデルチェンジする携帯電話についてもカタログで機能について把握はしていますが、1つの機種を長期間使うタイプです。指がようやく機器に馴染んだ頃に新しいものにするのは、憶えるために費やした時間のロスだと思います。

実は昨日入籍をしました。充実した家電生活を送っています。妻は僕よりもコンピュータ

■ 細川茂樹
俳優

1971年12月16日生まれ、岐阜県出身。94年俳優デビュー。テレビ・映画・バラエティ番組などで幅広く活躍し、芸能界きっての家電好きとしても知られている。2005年の『仮面ライダー響鬼』では、現役最年長のライダーを演じて話題を呼んだ。また2010年9月には初の書き下ろし小説『それでも僕は結婚したい』を出版し、さらなる活躍の場を拡げている。



に詳しいしコンピュータ好きです。誕生日に欲しいものを聞くと毎年必ずハイエンドのコンピュータが欲しいと答えるということが続いています。家庭内の家電については、彼女のリクエストを聞いて僕が買います。テレビが7台に洗濯機が2台あるのですが、掃除機が5台というほうがびっくりされるかもしれません。ただ僕自身はいずれ掃除機はひと部屋に1台の時代が来ると思っています。

今年はアプリの開発をやろうと考えています。まだ詳細については秘密にしておきたいのですが、生活を通して気づいた「こういうのがあったら面白いんじゃないか」と思うものを形にして5つ位出そうと目論んでいます。僕自身はプログラミングはできませんが、周囲には精鋭達がいるので1年かければ面白いものができるという自信を持っています。コンピュータが発達して、ネット社会の弊害が取りざたされることもありますが、会社を立ち上げなくてもネット上で形にできるというのは、年齢や性別そして資産に関係なく新しいことに挑戦できるという意味で素晴らしいことだと思います。僕は大垣市出身なので、本当はソフトピアジャパンに行って地元の学生さん達と一緒にアプリ開発をやるとするのが理想です。業界人だけで考えるのではなくアマチュアが戦っていけるというのが今の時代だと思います。この機会を通じて、情報処理学会の諸先生方とも新しい試みをやればいいなと思っていますので、ぜひ一緒に何かプロジェクトを立ち上げませんか？

